

## 7-1 山口市における地域公共交通活性化・再生総合事業

### 山口市地域公共交通総合連携計画

(基本方針) ①基本理念 ～子や孫の代まで続く公共交通にしよう!～  
創ろう!守ろう!みんなの公共交通

②取組姿勢 みんなが協働して創り育てる

(目標) ①市民生活と都市活動を支える公共交通の確立

②公共交通の機能分担

### 20年度事業の実施状況

#### 1. 事業の内容等

##### 1) 地域間バス交通の強化

地域間交流の活性化を図るため、旧市町の中心地間を結ぶバス路線を開設する。(秋穂—阿知須、小郡—阿知須の2系統)

##### 2) コミュニティタクシーの導入

交通不便地域の交通弱者の移動手段を確保するため、地域住民が主体となってコミュニティタクシーの導入を進める。

1年間の実証運行の成果を踏まえ、本格運行への移行を判断する。

##### 3) わかりやすい公共交通情報の提供

鉄道・バス共通の総合的な交通マップ・時刻表を作成し、市内全世帯へ配布する。

##### 4) 公共交通を利用する動機づけとなる事業の実施

「山口市民公共交通週間」を設定し、市民意識の高揚を図り、全市民的な取り組みとしての展開を図る。

### 山口市公共交通委員会

山口市、学識経験者、自治会連合会、公募市民、社会福祉協議会、商工会議所、国土交通省山口運輸支局、国土交通省山口河川国道事務所、山口県警察本部、山口県交通運輸対策室、山口県山口土木建築事務所、西日本旅客鉄道(株)、防長交通(株)、中国ジェイアールバス(株)、宇部市交通局山口地区タクシー協会

【事務局】山口市交通政策課内 083-934-2729



## 1) 地域間バス交通の強化

### ① 秋穂・阿知須線の開設(平成20年10月1日)

#### プロセス、創意工夫

秋穂及び阿知須の地域拠点間を結ぶ公共交通機関が整備されていなかったため、アンケート結果等から得た地域住民の意見を踏まえ、防長交通により1日4往復する路線を開設した。さらに、地域内の主要商業施設や保養施設に乗り入れることにより移動利便性の向上を図った。

#### 利用状況及び効果

利用者数 2.2人/便 ※調査期間20年10月1日～12月31日  
秋穂・阿知須間の移動が可能となり、地域間交流が促進された。

#### 今後の課題

当初見込みより利用実績が下回っているため、利用促進チラシの配布等により潜在的な需要を掘り起こす必要がある。

### ② 小郡・阿知須線の開設(平成20年10月1日)

#### プロセス、創意工夫

宇部市交通局が新山口駅・宇部新川駅間の快速便10往復を運行していたが、山口市内の停車停留所数が少ないため、新たに準快速8往復を開設して停車停留所数を増加させた。併せて主要商業施設内にバス交通結節点を整備し、市民の移動利便性の向上を図った。

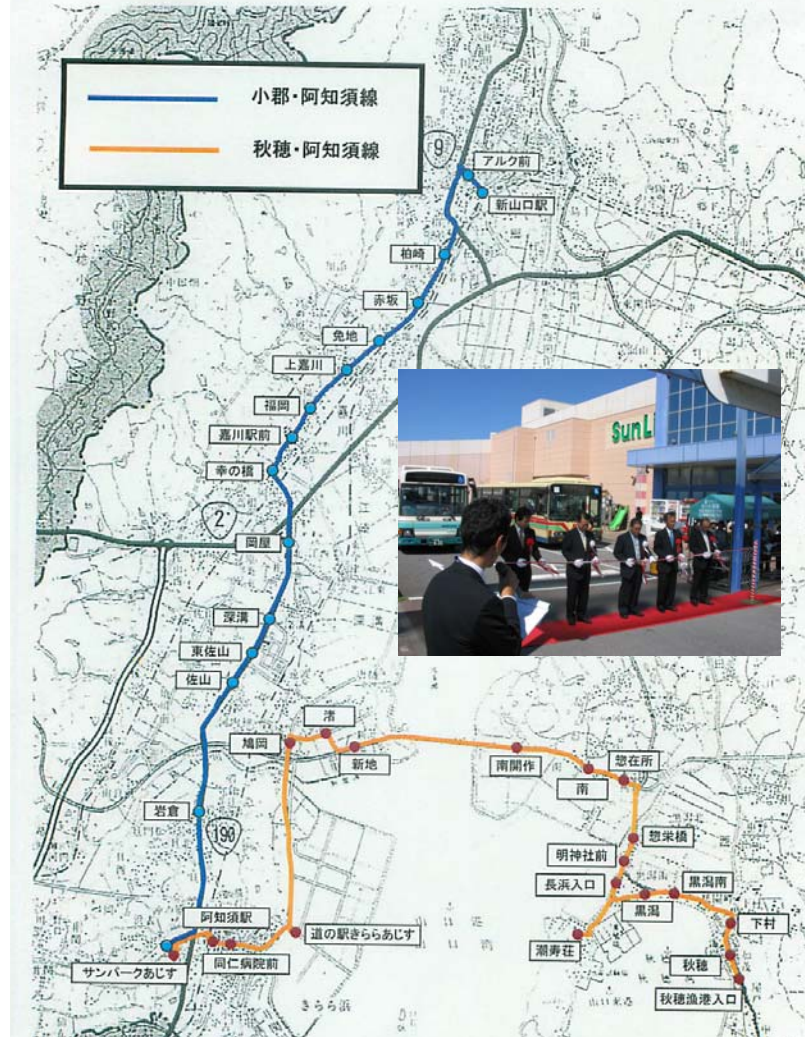
#### 利用状況及び効果

市内停留所の利用者数 11.6人/便 ※調査期間20年11月15日～30日  
小郡・阿知須間の運行便数と停車停留所数が拡充されたことで、地域間交流が促進された。

#### 今後の課題

更なる地域間交流の活性化に向けて、他路線バスやコミュニティタクシーとの接続改善による乗り継ぎ利便性の向上策等を行う必要がある。

新設バス路線ルート図



## 2)コミュニティタクシーの導入

### 【コミュニティタクシー実証運行(1年間)】

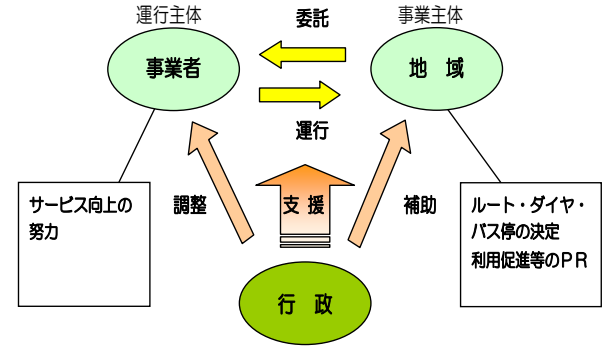
#### ■対象地域(①～③全てを満たす地域)

- ①交通不便地域
- ②高齢者など移動に不自由している人の多い地域
- ③地域自らが主体となって取り組む地域

#### ■事業主体 地域組織

#### ■運行範囲 最寄の駅やバス停、地区の中心地間

#### ■運賃 移動距離や採算性の観点から地域が決定



### プロセス、創意工夫

地域主体により市内7地区において導入した。各地区において、定期的に会合等を行い、利用動向や収益状況を踏まえながら運行改善を実施し、実証運行期間中に本格運行への目途を立て、順次本格運行に移行する。

### 利用状況及び効果

地域の移動制約者の解消に大きく寄与しており、地域の交通として高く評価されている。さらには、地域住民自らに当事者意識が生じ、収益性や利用率の向上のために運行改善やグッズ販売、イベントの開催等を積極的に行っており、コミュニティタクシーを起点に地域のまちづくりが活性化している。

### 今後の課題

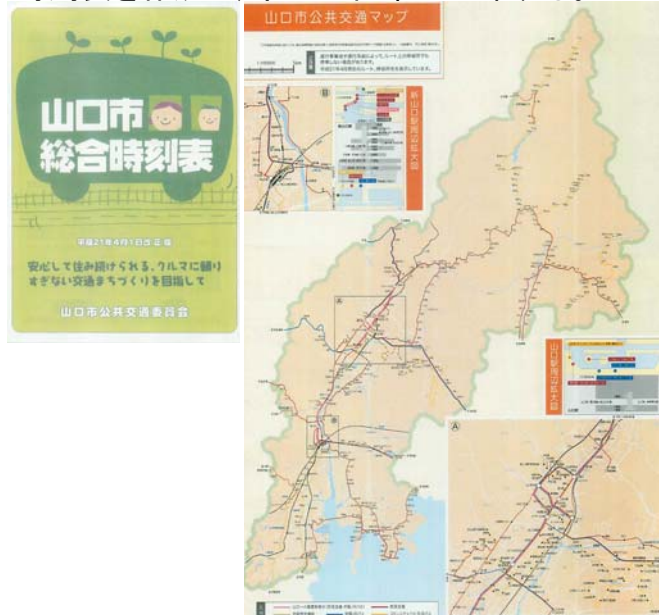
運賃収入が少なく、協賛金や住民負担金により収益性の向上に努めているが、経済情勢の悪化に影響されない安定した収益体質を構築する必要がある。

### 実証運行の概要【平成20年度】

モデル地域	小鯖	宮野	嘉川	小郡	秋穂	佐山	阿知須
運行開始日	20年2月25日	20年2月1日	20年1月28日	19年12月25日	20年2月6日	20年10月1日	20年10月1日
ダイヤ	週3日運行 (月・水・金)	週3日運行 (月・水・金)	週4日運行 (月・水・金・土)	平日運行 (土・日除く)	週3日運行 (月・水・金)	月・火・水・金	青畑線 月・水・金 引野線 火・木 循環線 月～金
運行便数	右回り:1日3便 左回り:1日3便	1日3往復	1日3往復 (土曜日2往復)	1日4往復	1日1往復	1日6便	青畑・引野線 1日4往復 循環線 1日6便
運行距離(1便当り)	12.3km	6.4km	9.2km	9.9km	小浜線 7.3km 宮之豆線 5.1km	15.6km	青畑線 14.7 引野線 10.9 循環線 14.4
使用車両	ジャンボタクシー (定員9人)	ジャンボタクシー (定員9人)	一般タクシー (定員5人)	ジャンボタクシー (定員9人)	ジャンボタクシー (定員9人)	一般タクシー (定員4人)	一般タクシー (定員4人)
1便当たりの平均乗車人数	1.9人	1.3人	1.9人	4.5人	2.5人	1.4人	1.8人
定員に対する平均乗車率	21%	14%	38%	50%	28%	35%	45%
基本運賃	200円	200円	200円	200円	200円	200円	200円

### 3) わかりやすい公共交通情報の提供

鉄道・バス共通の総合的な交通マップ・時刻表を作成し、市内全世帯へ配布する。



### 4) 公共交通を利用する動機づけとなる事業の実施

平成21年3月1日から1週間を「山口市民公共交通週間」とし、期間中にノーマイカーウィークや啓発イベントの実施を通じ、公共交通利用に対する市民意識の高揚を図る。

#### ○市内一斉ノーマイカーデーの実施

3月6日に実施することとし、市民及び市内各事業所に呼びかけている。公共交通機関の利用を一体的に促進し、個人の動機づけと全市的なアピールを目指す。

#### ○啓発イベントの開催

公共交通機関を利用する動機づけを行うため、バス車両の展示や乗り方教室とともに、コミュニティタクシーや交通に関する環境負荷、交通安全等を紹介するブースを設置する。また、来場を促進するため、公共交通機関関連のグッズ販売や、交通事業者等の協力で提供された景品によりビンゴゲーム大会等を併せて行う。

#### ○バス半額利用券の配布

公共交通週間の期間中に、市内区間の運賃が半額になる利用券を配布し、公共交通機関を利用する「きっかけづくり」を行う。

### 21・22年度の事業予定

## 2. 事業費等 (単位:千円)

■総事業費	●運賃収入(※)	1,747
	●地域負担	23,302
34,165	市負担金	23,302
	●総合事業費補助金	10,861

(※)コミュニティタクシーの運賃収入  
運賃等の収入を控除した運行経費を、法定協議会が事業主体の地域組織に補助をしている。

1. コミュニティタクシーの実証運行……………平成21・22年度
2. インターネットによる情報提供……………平成21・22年度
3. 総合交通マップ・時刻表の更新、配布……………平成21・22年度
4. パーク&ライドの実施……………平成21・22年度
5. モビリティマネジメントの実施……………平成21・22年度
6. 「市民公共交通週間」の設定……………平成21・22年度